令和7年度 第1回 大府市生涯学習審議会議事概要

日 時 令和7年5月22日（木） 午前10時00分から午前10時50分まで
場 所 大府市役所2階201・202会議室
出席委員 会長 池田逸夫、副会長 池田美代子
滝川初成、濱嶋稔、神田由美、館内三郎、石黒公子、大橋房代、
井上愛、山本友和
欠席委員 なし
事務局 市長 岡村秀人、副市長 山口智絵子、教育長 松山靖
市民協働部長 中村浩
協働推進課長 奥村喜美子、協働推進課担当課長 小栗明雄
協働推進生涯学習係長 平松雅也、協働推進生涯学習係主任 佐々木宏孝
文化交流課長 細谷健
欠席者 なし
傍聴者 なし

1 市長あいさつ

委員の皆様におかれましては、日頃から本市の生涯学習行政にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

本市では本年9月に市制55周年を迎えることから、今年度は「健康と音楽」をテーマに、世界で活躍する本市出身の音楽家を招いたコンサートを始め、全38の記念事業を実施してまいります。その中の冠事業の1つとして、市民漫才コンテストである「OBU-1 グランプリ 2025withメディアス」を今年度も開催いたします。毎回、大変な盛り上がりを見せており、今年度で5回目の開催となりますが、市制55周年にふさわしい、より一層盛大な催しとなるよう、創意工夫を凝らしながら準備を進めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。また、本市では、昨年11月に「おおぶ生き生き幸齢者応援八策」を策定し、その柱の1つとして、知識や経験を活かして社会や地域に貢献する「貢献寿命」の延伸を掲げております。公民館事業として実施している生涯学習講座には、幅広い年代の方々に講師としてご協力いただいております。それぞれの分野に精通した皆様が、貴重な知識と経験を地域に還元していただいております。このような取組を一層推進し、幸齢者の皆様がいきいきと活躍できる環境づくりを進めるとともに、地域全体のさらなる活性化へとつなげてまいりたいと考えております。

さて、本日は、今年度第1回の大府市生涯学習審議会です。本審議会は、生涯を通じた学びの支援や機会の提供など、本市における生涯学習の総合的な推進を図るために設置されております。再任いただく8名に加え、今年度は新たに2名の委員をお迎えすることができました。皆様には、令和7年度と令和8年度の2年間を任期として、どうぞよろしくお願い申し上げます。今後も公民館・生涯学習の推進のために、委員の

皆様にはぜひとも新たな目線で忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。

結びにあたり、皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げるとともに、今後とも本市の生涯学習行政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 委嘱状の交付 机上で配布

3 会長及び副会長の選出 会長に池田逸夫委員、副会長に池田美代子委員が選出された。

4 大府市生涯学習審議会について（資料No.1） 事務局：資料No.1に基づいて説明 （質問、意見等なし）

5 議題

(1) 令和6年度生涯学習事業実績について（資料No.2）

事務局：資料No.2に基づいて説明

（委員）おやじの学び舎は、講座の表題に「地域デビュー」とあるとおり、地域の人材不足に対するアプローチとして非常に有効であると考えている。しかしながら、実際にそれが地域の活性化にどれほど繋がっているのか、その効果がやや見えにくいという印象がある。毎年、多くの方が講座に参加しており、それは地域や社会への関心が高いということであると思うが、その後、彼らがどのような形で地域に関わっているのか、具体的な動きや成果が十分に把握されていないように思う。たとえば、成果発表会の場を活用して、地域の関係者や地域活動に携わっている方々などを招き、受講生と地域との接点を創出することも効果的だと思う。せっかくこのような学びの機会を得たのであれば、地域との繋がり方について、もう一步踏み込んで示すような道筋をつけていくような仕組みがあると良いと思う。

（事務局）近年、講座の内容がマンネリ化し趣味の内容に偏りつつあり、参加者の地域デビューまでなかなかつなげることができていない。そのため、参加者と地域を結ぶ仕組みづくりについて、講座の内容を含めて見直していきたいと考えている。

（委員）北山公民館の講座で開催中止が何点かあったことが気になった。一部の公民館の利用者が減っているというような傾向はあるか。

（事務局）北山公民館の利用者は確かに令和5年度よりも減少しているが、講座の中止は受講者が少ない場合だけでなく、講師の都合等によるものもあるので、一概に公民館の利用者減少が原因とは言えない面もある。

(委員) フレガクには市の職員も参加しているのをよく拝見する。職員と一般の方の参加の割合がわかれば教えてほしい。

(事務局) 地域との交流等のきっかけとして、職員も一参加者として講座に参加することはあるが、その場合でも一般参加者との区別はしていないため、その割合までは不明である。

(2) 令和7年度健康お笑い事業の実施について (資料No.3)

事務局：資料No.3に基づいて説明

(質問、意見等なし)

(3) 大府市社会教育関係団体の認定について (資料No.4)

事務局：資料No.4に基づいて説明

(委員) 大府市社会教育関係団体の認定を受ければ公民館の使用料が減免になるが、使用料が減免とならないコラビアを主な活動場所としているウクレレキッズについて、今回申請した理由は何かあるのか。

(委員) ウクレレキッズからは、文化協会に入会したいという話が合った際に、活動や発表の場を拡げていきたいという話を聞いている。なお、新たな練習場所として公民館も検討しているとのことである。

(委員) 事務所や連絡所を市内に有していることが認定要件のひとつとなっているが、申請書の「事務所または連絡先」の記入欄が市外の団体がある。この要件は現在緩和されているのか。また、認定を受けるメリットは公民館使用料の減免以外に何かあるのか。

(事務局) この認定要件に変更はないため、申請書の「事務所または連絡先」欄は市内在住の会員の方の情報を記載してもらうべきであった。この点は事務局としての反省事項であるので、今後はこのようなことがないように注意する。また、認定を受けるメリットについては、公民館使用料の減免措置が、団体が直接的に受けられる支援として唯一のものになる。しかし、一般団体から社会教育関係団体へ移行していただくということは、単に減免措置を受けられるという利点にとどまらず、他の一般団体とは異なる、もう一歩進んだ公益的な役割を担っていただくことを期待している。そのため、地域とのより深い結びつきを築く一環として、公民館まつりや芸能祭など、地域で実施されている各種行事にも積極的に関与していただきたいと考えている。このような連携を通じて、市と団体の双方にとって有益な関係が構築されるものと考えている。

6 報告事項

令和7年度生涯学習審議会に関わる行事予定について (資料No.5)

事務局：資料No.5に基づいて説明

(質問、意見等なし)

7 山口副市長あいさつ

委員の皆様、本日は長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。審議会委員の皆様におかれましては、任期が2年間となりますので、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

始めに「令和6年度生涯学習事業実績について」を議題とさせていただきます、昨年度実施した生涯学習事業や公民館等の利用状況について、担当より説明させていただきました。現在の公民館はこれまでの社会教育施設としての役割に加え、地域の拠点施設として、地域担当職員である公民館職員が、皆様の日々の困りごとに対して相談を受け、ともに考える場所となっております。人と人がともに学び、話し合える場の提供を、途切れることなく続けてまいりますので、ぜひ皆様、大府市の公民館を大いにご利用いただきますようお願い申し上げます。また、「大府市社会教育関係団体の認定について」も議題とさせていただきます。社会教育関係団体は、本市の生涯学習活動を支える重要な存在でありますので、より一層の活躍に繋がれるよう、引き続き支援してまいりたいと思ひます。

委員の皆様におかれましては、大府市の生涯学習事業の推進のために、多方面からご審議いただきましたことに、心より感謝申し上げます。今後の審議会につきましても、より一層審議を深めてまいりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

【次回予定】

第2回大府市生涯学習審議会

日時：令和7年8月29日（金）午後2時から

会場：大府市役所地下会議室 001・002